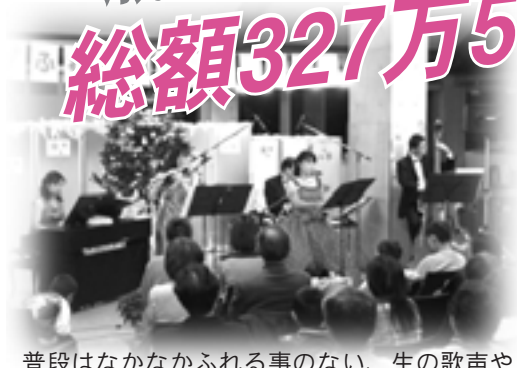


歳末たすけあい募金 総額327万5637円



募金しよっと！



普段はなかなかふれる事のない、生の歌声や楽器の音色に終始時間の経つのを忘れて聞き入っていました(エーガイヤちくさ)



一宮町更生保護婦人会とやすらぎ子育てグループによる餅つき交流会でのひとコマ「うまくできるかな？」(一宮保健福祉センター)

あつたかい地域づくりへ 広く活用しました

歳末たすけあい事業は、物資が不足した時代に、地域の婦人会を中心とした「金品の持ち寄り運動」からはじまりました。

そのため、当時の「歳末たすけあい」は「明るいお正月を迎えるため」に対象世帯に見舞金などを配ることが中心でした。

その後、兵庫県では、共同募金の目的が地域福祉の推進と位置づけられたことによりこの「歳末たすけあい」の募金は「見舞金の配布」から「地域福祉事業」へと移行していきました。

今年の宍粟市社協の歳末たすけあい事業は、住民相互の「ささえあい」と「たすけあい」の精神を大切にしながら、新たな年を迎える時期に、支援が必要な方々へ、必要な福祉サービスを提供し、安心して地域で暮らすことができるように応援しました。また、少子化が進んでいる現在、新たな取り組みとして、子どもたちの成長の一助となるように申請のあった団体へサンタクロースを派遣する「子ども



“良いお年をお迎え下さいね！”職員が1件1件手渡しでお弁当を届けました

応援プログラムを行いました。

この他に、歳末たすけあい事業は、住民が自主的に行う福祉活動を応援するために、障がい者支援活動を行う作業所や自治会、婦人会、ボランティアグループ等にも配分するなど「福祉のまちづくり」への活用に努めています。

昨年度、好評をいただいた「ふれあいコンサート」も、今年度は地域の公民館などの身近な施設をお借りして開催したところ、地元ボランティアによる自主的なお手伝い支えていただき、市内8か所で